

報告書刊行記念シンポジウム

鉄砲山古墳を掘る

令和2年

11月15日 日 10:00-16:40



会場 行田市教育文化センター「みらい」文化ホール(埼玉県行田市佐間3丁目24-7)

参加費 無料 但し資料集代(500円程度)がかかります

定員 120名

主催 埼玉県立さきたま史跡の博物館
共催 行田市教育委員会

基調講演 10:40~12:10

「前方後円墳の新展開 - 関東の後期大型前方後円墳の盛衰 -」

講師 白井 久美子 氏 (千葉県立房総のむら)

各論発表 13:10~15:40

①「鉄砲山古墳の発掘調査」

講師 山田 琴子 氏 (さきたま史跡の博物館)

②「鉄砲山古墳の横穴式石室について」

講師 青木 弘 氏 ((公財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団)

③「鉄砲山古墳の埴輪群と生出塚埴輪窯」

講師 高田 大輔 氏 (鴻巣市)

④「鉄砲山古墳の葬送儀礼と須恵器」

講師 藤野 一之 氏 (駒沢大学) ※紙上/動画発表

総合討議 15:50~16:30

●申込み方法

当館ホームページの電子申請 または
往復はがき (詳細は裏面をご覧ください)

●申込み期限

令和2年10月20日(火)当館必着



小人物埴輪



石室羨門(正面から)



須恵器大甕



埴形埴輪(出土状況)



報告書刊行記念シンポジウム

鉄砲山古墳を掘る

開催趣旨

鉄砲山古墳は、特別史跡埼玉古墳群内で3番目の規模を誇る前方後円墳でありながら調査が進んでおらず、不明な点が多く残る古墳でした。本格的な発掘調査が始まってから10年が経過し、令和元年度には7年間にわたる発掘調査の成果をまとめた報告書が刊行されました。最新の発掘成果からわかった鉄砲山古墳の姿について、多角的な視点から捉えるためにシンポジウムを開催いたします。

プログラム

10:00	受付開始・開場
10:30	主催者あいさつ・主旨説明
10:40 - 12:10	基調講演 「前方後円墳の新展開－関東の後期大型前方後円墳の盛衰－」 白井 久美子 氏（千葉県立房総のむら）
13:10 - 13:50	発表① 「鉄砲山古墳の発掘調査」 山田 琴子 氏（埼玉県立さきたま史跡の博物館）
13:50 - 14:30	発表② 「鉄砲山古墳の横穴式石室について」 青木 弘 氏（(公財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団）
14:30 - 14:40	…休憩…
14:40 - 15:20	発表③ 「鉄砲山古墳の埴輪群と生出塚埴輪窯」 高田 大輔 氏（鴻巣市）
15:20 - 15:40	発表④ ※紙上/動画発表 「鉄砲山古墳の葬送儀礼と須恵器」 藤野 一之 氏（駒沢大学）
15:50 - 16:30	総合討議 「鉄砲山古墳の調査成果とその意義」 コーディネーター 関 義則 氏（埼玉県立さきたま史跡の博物館）
16:40	閉会

※新型コロナウイルス感染拡大防止のための十分な感染症対策を行ったうえで、開催します。
また、感染状況によっては、予定が変更になることがあります。

申込方法

さきたま史跡の博物館ホームページの**電子申請** または **往復はがき**
申込み期限 令和2年10月20日(火) 当館必着

- ※1通(1申請)につき2名まで応募可能。
- ※往復はがきには、「シンポジウム参加希望」と記入の上、応募者全員の氏名・住所・電話番号を明記してください。また、返信用はがきにも代表者の郵便番号、住所、氏名を記入してください。
- ※応募者多数の場合は抽選となります。

問い合わせ先/往復はがき送付先

〒361-0025 行田市埼玉4834
埼玉県立さきたま史跡の博物館
シンポジウム担当

電話 048-559-1181

FAX 048-559-1112

<https://sakitama-muse.spec.ed.jp/>

